

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【公開番号】特開2012-105744(P2012-105744A)

【公開日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2010-255454(P2010-255454)

【国際特許分類】

A 4 6 D 1/00 (2006.01)

【F I】

A 4 6 D 1/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月31日(2013.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱可塑性樹脂モノフィラメントのカットブリッスルからなる歯ブラシ用毛材であって、前記熱可塑性樹脂モノフィラメントは、熱可塑性樹脂 99.9 重量%～95.0 重量%と、米糠および／または麩糠類からなる多孔性炭素剤セラミック粒子 0.1 重量%～5.0 重量%との混合物を溶融紡糸してなることを特徴とする歯ブラシ用毛材。

【請求項 2】

前記多孔性炭素剤の平均粒子径が 1.0～3.0 μm の範囲にあることを特徴とする請求項 1 に記載の歯ブラシ用毛材。

【請求項 3】

前記カットブリッスルの少なくとも一端にテーパ形状が形成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の歯ブラシ用毛材。

【請求項 4】

請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の歯ブラシ用毛材を毛材の少なくとも一部に使用したことを特徴とする歯ブラシ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために本発明によれば、熱可塑性樹脂モノフィラメントのカットブリッスルからなる歯ブラシ用毛材であって、前記熱可塑性樹脂モノフィラメントは、熱可塑性樹脂 99.9 重量%～95.0 重量%と、米糠および／または麩糠類からなる多孔性炭素剤セラミック粒子を 0.1 重量%～5.0 重量%との混合物を溶融紡糸してなることを特徴とする歯ブラシ用毛材が提供される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明の歯ブラシ用毛材は、図1および図2に示すように、熱可塑性樹脂モノフィラメントのカットブリッスルからなる歯ブラシ用毛材であって、前記熱可塑性樹脂モノフィラメントは、99.9重量%～95.0重量%の熱可塑性樹脂20と、0.1重量%～5.0重量%の米糠および／または麩糠類からなる多孔性炭素剤セラミック粒子21との混合物を溶融紡糸してなることを特徴とするものである。